⑪【新潟県厚生農業協同組合連合会　柏崎総合医療センター】

住　　所	〒945－8535　新潟県柏崎市北半田２－11－３		病床数：400床（一般308床、回復期リハ45床、地域包括ケア47床）
診療科目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、内分泌・糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、小児科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、精神科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科		
研修責任者名	相田　　浩（病院長）	連絡先：soum1@kashiwazaki-ghmc.jp 0257－23－2165（代表）	連絡先担当者名：高橋　潤一郎（総務課長）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：０人、24年度：０人、25年度：０人、26年度：０人、27年度：０人、28年度：０人、29年度：０人、30年度：０人、令和元年度：０人、２年度：１人 ・その他プログラム採用 平成23年度：１人、24年度：１人、25年度：０人、26年度：０人、27年度：０人、28年度：１人、29年度：１人、30年度：０人、令和元年度１人、２年度：０人		

研修受け入れ可能診療科※	学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：内科（内分泌糖尿病、循環器、血液、腎臓、消化器、呼吸器）、救急、外科（消化器外科＋乳腺外科＋内分泌外科）、小児科、産婦人科 選択研修：脳神経外科、麻酔科、整形外科、泌尿器科	内科（内科６人、糖尿病２人、内分泌２人、甲状腺１人、循環器１人、血液１人、透析１人、腎臓１人、消化器３人、消化器内視鏡１人、肝臓２人、腫瘍１人）、外科（外科４人、消化器外科２人、乳癌１人）、小児科１人、産婦人科３人、麻酔科１人、整形外科２人、泌尿器科１人、脳神経外科１人、放射線１人、心療内科１人、性機能１人	内科（内科６人、糖尿病１人、内分泌１人、血液１人、消化器１人、肝臓１人、腫瘍１人）、外科（外科２人、消化器外科２人）、産婦人科１人、麻酔科１人、泌尿器科１人

施設の概説・特徴

医療人口約10万人をもつ柏崎地区唯一の総合病院。救急医療では地域の８割を担う。急性期医療を中心としているが、慢性期医療、さらに生活復帰、社会復帰も重視し、地域包括ケア病棟、回復期リハビリ病棟も有し、地域完結型の医療を目指している。

研修受け入れ可能診療科の説明

内科：領域全般にわたって２次から３次に及ぶ高度医療を担当。循環器は心カテーテル（ステント挿入含む）を年間250例以上実施。消化器は年間1,000件以上の内視鏡手術、経皮的手術を行ってい　る。呼吸器は地域で肺癌、感染症の診断と治療の中心的存在である。内分泌は地域の糖尿病医療の中心となり、合併症予防にも力を入れている。腎臓内科は柏崎刈羽地域唯一の透析施設であり、腎疾患全般に対応している。血液内科では、血液疾患の診断から標準的化学療法まで幅広く行っている。
外科◆：手術件数は年間約400件で、消化器全般の手術と乳腺・甲状腺などの手術を行っている。適応疾患に腹腔鏡下手術を積極的に行い、３Ｄ腹腔鏡も常備している。
整形外科：外傷をはじめ、手の外科・膝・肩など整形外科全般において高レベルの治療を行っている。手術の件数と内容は、倍の規模の病院に匹敵する。
泌尿器科：良性悪性、年齢を問わずあらゆる泌尿器疾患に適応し、内視鏡手術を積極的に取り入れている。
脳神経外科：大学及び近隣の病院・医院と密に連携と、当地域のあらゆる神経疾患に対応している。MRI を用いた脳梗塞の急性期診断に力を入れている。
小児科：一般小児科診療における基本的知識と技術を修得する。また新生児医療（正常新生児の診察を含む）を経験する。
産婦人科：地域の中核病院として一般診療を行っているほか、思春期外来、助産師によるレディース外来を設けている。
麻酔科：年間3,000件を超える手術症例があり、一般外科から産科麻酔、小児麻酔まで幅広い症例を数多く経験することが可能。麻酔に関わる手技は一通り習熟できる環境が整備されている。

研修の概説と特徴

当院の医師は、専門医としてだけでなく総合診療医の側面も持ち合わせなければならない。このような上級医・指導医達全員が、生の日常診療を通して、医療知識と技術習得のための研修指導を行う。研修では、多くの common disease、救急医療や急性期疾患、慢性期疾患の様々な症例を経験してもらう。科を越え興味深い症例の情報を共有し、研修中の科にとらわれず担当できる柔軟性もある。多くのメディカルスタッフとの連携を通じ、「病む人」を全人的にとらえる態度も習得してもらいたい。研修医の日常臨床や知識整理に役立つよう、上級医師全員によるショートレクチャーを定期的に行っており、学生、上級医にも好評である。

研修医の当直

原則として１人では当直は行わず、指導医について月２回程度（副直）。また、研修科により、当直免除有。

処　　遇

●給与：１年次（月額基本給）350,000円（諸手当）当直手当19,400円／回、時間外手当・厚生連規程により支給…月額平均500,000円程度
　　２年次（月額基本給）380,000円（諸手当）当直手当19,400円／回、時間外手当・厚生連規程により支給…月額平均570,000円程度
　　※賞与なし
　　※２年間20万円まで個人研究費あり。
●食事：昼食は院内のコンビニや弁当業者を利用しているため不自由はなく、夕食もコンビニや出前、周辺レストランを利用する。
●宿舎：アパート等の斡旋（50,000円／月の助成有）、赴任時の引越料金病院負担　※病院周辺に民間アパート多数あり
●居室：専用の居室は有。専用のデスクを用意している。
●図書・文献：医学図書……24時間 Medline 等の文献データベースが利用可能。Up To Date、医中誌 Web、今日の臨床サポート
　　国内図書　5,400冊　　国外図書　700冊
　　医学雑誌……国内雑誌　59種類　　国外雑誌　16種類
●インターネット環境：可能

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。
◆令和４年度当院での外科（必修）担当科の１つであり、研修の際は、基本的な外科手技と全身麻酔手術時の周術期全身管理能力を修得する。